

令和2年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「カトレン地区オッディマ中等学校保健室棟建設計画」引渡式の実施

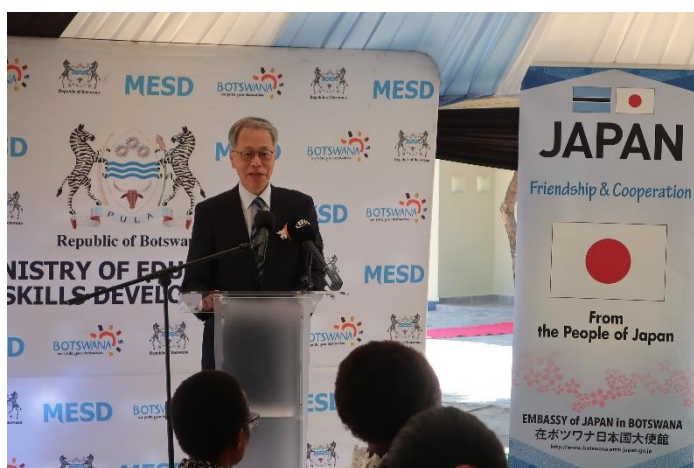
在ボツワナ日本国大使館

令和5年3月31日

令和5年3月30日、令和2年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「カトレン地区オッディマ中等学校保健室棟建設計画」の引渡式が、大森摂生駐ボツワナ日本国大使、マブセ・プレ地方自治・地方開発大臣、オーブリ・レサソ教育・技術開発省副大臣、被供与団体代表のモンティ・テオ学校長及び来賓その他関係者の出席の下、オッディマ中等学校の敷地内にて行われました。

本計画は、首都ハポローネ市の中心街から約30km北に位置する、オッディマ中等学校の敷地内において、保健室棟(1階建て、病室2室、カウンセリング室1室、トイレ、シャワー、調理室、受付)の建設を支援するもので、適切なカウンセリング及び医療処置を行える施設が整備され、生徒のプライバシーを確保したカウンセリングや怪我の措置が可能となります。

引渡式において、大森大使は、保健室棟の完成によって、生徒が適切な環境でカウンセリングや医療処置を受けることにより、オッディマ中学校での学校保健が推進されることを期待する旨述べました。また、同施設は学校周辺の村人にも開放される予定であることから、被供与団体と地域の関係機関が協力して、同施設の有効活用を図ることが望ましい旨述べました。



(写真) 大森大使による式典スピーチ



(写真) 供与したオッディマ中等学校の保健室棟